

平成27年度関東高等学校女子バスケットボール大会 第69回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

平成27年6月7日(日)

Aブロック

準決勝

富士北麓公園体育館

Bコート

第2試合

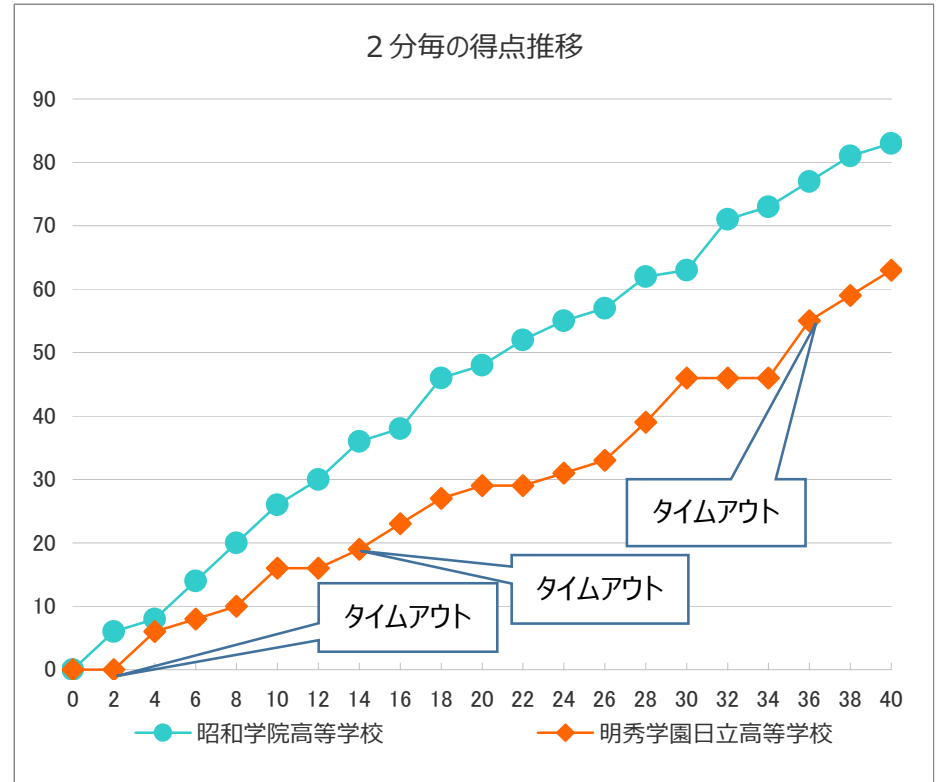
チームA		26	1st	16		チームB
昭和学院高等学校 (千葉県)	83	22	2nd	13	63	明秀学園日立高等学校 (茨城県)
		15	3rd	17		
		20	4th	17		

Aチーム： 昭和学院高等学校

No.	S	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			TO
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
4		荻野 あかり	6	0	2	3	5	0	0	0	1	0	1	0
5	*	中村 美羽	18	0	0	7	19	4	5	1	11	5	16	0
6		小野尾 梨紗	2	0	2	1	5	0	0	1	0	4	4	2
7	*	山本 由真	11	1	2	3	7	2	2	0	3	1	4	1
8	*	赤穂 ひまわり	20	0	0	8	20	4	5	1	7	15	22	4
9	*	山本 加奈子	12	2	6	3	8	0	0	1	3	5	8	3
10		安藤 礼乃	2	0	0	1	4	0	0	2	1	1	2	1
11		篠原 由梨香												
12		齋藤 絢												
13		田中 咲弥												
14	*	笠置 晴菜	12	4	7	0	4	0	0	0	2	0	2	1
15		宗形 真李	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
16		佐古 愛	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
17		大塩 菜々子												
18		山下 詩織	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HC/TEAM		鈴木親光												
		合計	83	7	21	26	73	10	12	6	28	31	59	14

Bチーム： 明秀学園日立高等学校

No.	S	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			TO
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
4	*	大井川 明日香	8	0	3	4	6	0	0	2	1	5	6	4
5	*	菊地 恵里奈	7	0	0	3	7	1	1	2	0	5	5	3
6	*	池元 美沙希	8	0	0	3	5	2	3	4	1	3	4	2
7	*	岡田 英里	21	3	7	6	14	0	0	3	1	4	5	7
8		中野 愛	0	0	3	0	3	0	0	2	0	1	1	1
9		野上 寧々												
10		市川 知奈	6	0	1	3	3	0	0	3	1	3	4	1
11	*	真栄城 紗英乃	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12		後藤 未来	8	0	2	4	7	0	0	3	1	3	4	0
13		藤井 美咲												
14		田村 歩												
15		瀧 優梨紗												
16		吉原 憂良	5	1	2	1	1	0	0	0	0	3	3	1
17		松本 璃奈												
18		中野 理那												
HC/TEAM		筑波 大												
		合計	63	4	19	24	46	3	4	19	5	27	32	20



戦評

記者：土屋 一人 (山梨県高体連)

1 Q： 昭和はマンツーマン、明秀は2-3ゾーンでスタート。昭和は攻撃の要である⑧赤穂、⑤中村を中心に攻撃を展開していく。対する日立は動きが固く、攻撃のリズムが掴みきれない。しかし明秀は⑤菊地のポストプレイなどで得点をつなぎ、昭和学院26-16明秀日立で終了。

2 Q： 明秀は2秒オーバータイムやリバウンドなどで守備からリズムを掴もうとするが、昭和の高さに苦戦しファウルも多くなる。昭和学院は⑧赤穂、⑤中村のインサイドプレイに加え⑩山本の3Pが効果的に決まり突き放す。明秀日立は速攻主体で反撃を試みる。⑦岡田、②後藤が得点するも、昭和学院48-29明秀日立で終了。

3 Q： 明秀は粘り強い守備から速攻で点差を縮めようとする。⑦岡田がミドルシュートや外角シュートを高確率で決めていけなかな点差を詰められない。昭和は軸となる⑧赤穂のポストプレイに加え、④笠置の3Pも決まり着実に加点。昭和学院63-46明秀日立で終了。

4 Q： 開始早々昭和はランプレイ、3P、リバウンドシュートと一気に攻め立て、開始1分で73-46とする。明秀は昭和の堅守をなかなか崩すことができず5分近く無得点の状態が続く。昭和は最後まで走りきり、④荻野がレイアップシュートを決めていく。明秀は⑦岡田を中心に②後藤、④大井川、⑤菊地も得点するが外角シュートがなかなか決まらず苦勞する。結局、昭和学院83-63明秀日立で終了。昭和学院が決勝戦に進出した。

主審	第1副審	第2副審
安西 郷史 (本部)	竹澤 友美 (埼玉県)	石鍋 光智代 (東京都)